

## 銀賞

### 私達の大切なお水

黒田 莉央

大刀洗町立菊池小学校

浄化センター見学の日、私は、あまり楽しい気分ではありませんでした。なぜならば、「下水はきたないお水で、くさいにおいがするからいやだな。」と思っていたからです。

福童浄化センターに着くと、働いている方が色々なことを説明してくれました。DVDで下水道の仕組みを知ったり、よごれた水をきれいにするのを助ける微生物をけんび鏡で見たりしました。私は、微生物を見るのが初めてでした。係の方が、微生物がどんなに小さい生き物なのかを説明してくれました。「けんび鏡で見ないと分からないくらい小さな生き物が、よごれた水をきれいにする力をもっているんですね。」と、とてもおどろきました。

次に、水がきれいになっていく仕組みについて学習しました。はじめは、においもありにごった色だった水が、微生物の入った活せいでい混ぜた生物反応そうで茶色の水に変わりました。そして、最終ちんでん池で、しよ理水とおでいに分けられ、にごっていた水はどう明になりました。最後に消どくをすることで、川に流せるきれいな水になりました。よごれていた水が、だんだんきれいになっていく様子を見ておどろくとともに、そうなるまでにはたくさん時間や手間がかかっていることにも気が付きました。そこで、「いつも何気なく使っている水だけ私にも何かできることはないのかな。」と考えました。すると、浄化センターの方が

「水といっしょに油を流さないようにすることで、生物反応その微生物を守ることができるとだよ。」と教えてくれました。

この他にも、節水の大切さを知りました。節水すると、浄化センターできれいにしなくてはいけない水の量もへらすことができます。私たちは、クラス三十二人で、一週間、節水してみました。節水と言っても、歯みがきのときにコップを使う、手をあらうときはこまめに水を止める、など小学生でも簡単にできるものです。クラス全員で取り組むと、一万二百八十三リットルもの水を節水することができました。一人ひとりが少し気を付けるだけで、たくさん水を大切にすることができたのです。節水することは、とても良いことだと思います。

見学が終わった後、私は下水しよ理の仕組みをすべてよかったと思いました。浄化センターに行つてよかったと思いました。これまで、下水は「きたない」とか「くさい」というイメージしかありませんでしたが、きちんとしよ理されて、川に放流された水は、また浄水場に行き、私たちの生活に欠かせない水になっていることを知ったからです。今回の見学を通して学んだことを、まわりの人にも教えてあげて、これからもっとたくさんの人達が水を大切にしていけるといいなと思いました。私にもできることから気を付けて、これからも水を大切にしていこうと思いました。